

ダイビングを始めるときのショップ・チェックリスト【現地ダイビングサービス編】

主な項目についてお客さんの目線で事前にチェックできることをまとめてみました。

みなさんそれぞれで重視したい項目などは違ってくると思います。

「自分にとっては特にここが大事」というポイントを探してみてください。

事前に現地のお店に行くことが難しいため、都市型ショップに比べるとどうしても事前にチェックできる項目は少なくなります。その分、しっかりと確認をしてください。

みなさんが「自分に合ったショップ（サービス）」「信頼できるショップ（サービス）」に出会えることを心から願っています。

		チェック項目	自分の評価	備考・補足
コミュニケーション	電話	言葉づかいがしっかりしているか		<ul style="list-style-type: none"> ・ 妙に慣れ慣れしい対応には注意しましょう ・ 分からないことはなんでも質問してみましょう
		こちらの質問にしっかり答えてくれるか		
	メール	返信・対応が迅速か		<ul style="list-style-type: none"> ・ 問い合わせしたメールの返信に 1 日以上かかると、「あれ？」とってしまいますよね（定休日を除く） ・ 分からないことはなんでも質問してみましょう
		文章はしっかり書かれているか		
		こちらの質問にしっかり答えてくれるか		
	ホームページ	C カード取得料金の表記が分かりやすいか		<ul style="list-style-type: none"> ・ C カード取得にかかる料金とそこに含まれているものを確認しましょう ・ しっかりしたショップは、細かい費目とその料金も表記しています ・ HP があまりに見にくかったりするお店は、ちょっと不安になってしまいますよね ・ 検索エンジンの検索結果で上位にくることは、そのお店の講習内容の品質とは直接の関係はありません（なので、いろんなサービスの HP を見てみましょう）
		最低限の見やすさ・デザインがあるか		
	C カード取得コースの説明	初めての人に対しても説明はわかりやすいか		<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話かメールで、C カード取得コースのこともしっかり聞いておきましょう ・ 初めての人にわかりやすい説明をしてくれるかどうか大切です ・ 分からないことはなんでも質問してみましょう ・ 現地での講習のスケジュールを確認しておく、その他の予定も立てやすいでしょう（ただし海況によって変更がある場合もあります）
		こちらの質問にしっかり答えてくれるか		
		現地でのタイムスケジュール		

		チェック項目	自分の評価	備考・補足
立地・施設	サービスの場所	最寄りの駅・空港からどうやって行くか		<ul style="list-style-type: none"> ・最寄りの駅・空港、あるいは宿泊している宿からの行き方を確認しましょう ・一定の範囲内なら無料で送迎を行っているサービスも多いです ・また、Cカード取得後にまたダイビングをしに行くこと（通えそうかどうか）も考慮しておくといいかもしれません
		その後も通えそうな場所か		
	サービスの施設	プールなど付帯の施設があるか		<ul style="list-style-type: none"> ・プール施設があるのかも確認してみましよう ・現地サービスでは、プール講習のかわりに浅くて穏やかな海で講習を行うこともあります
雰囲気	スタッフの人柄	スタッフの人柄		<ul style="list-style-type: none"> ・こればかりは相性がありますが、せっかくなのですから自分と合いそうな人（サービス）を選びましょう ・現地サービスの場合は事前にお店の雰囲気をチェックすることができないので、ホームページやメール・電話のやり取りをより大事にしたいですね
Cカード講習	Cカード取得にかかる料金	その料金でどこまでが含まれているのか		<ul style="list-style-type: none"> ・HPなどに表記されている金額に何が含まれているかをチェックしましょう ・料金面だけでなく「充実した講習が受けられるか」も基準にしましょう
		追加費用があるとしたら、何にどれだけかかるのか		
		安さだけが全てではありません		
	安全管理への意識	安全管理は徹底されているか		<ul style="list-style-type: none"> ・これからダイビングを始める方にとっては見極めが難しいところだと思いますが、「安全への意識がどれだけあるか」も基準にしましょう ・電話やメールにせよ、講習やスキルの内容について質問したら丁寧に教えてくれるようなお店は、意識が高いと言えるかもしれません
	講習生の人数	一回のCカード講習の上限は何人までか		<ul style="list-style-type: none"> ・Cカード講習の講習生の上限を定めているショップも多いです（4人程度のところが多いです） ・一般的には、上限人数が少ない方が講習の質は上がるでしょう ・上限を超える場合、アシスタントをつけて対応するショップもあります

		チェック項目	自分の評価	備考・補足
Cカード講習	学科の講習内容	分かりやすい講習をしてくれるか		<ul style="list-style-type: none"> ・何より、聴いていて分かりやすい講習であることが大切です ・教本のマニュアルをただ読んでいるような講習は論外です ・これからのダイビングライフを考えると、自分（講習生）が理解しているかどうかをきっちり確認してもらった方がためになります ・ここではとりあえず合格する（Cカードをもらう）ことよりも、内容をしっかり理解することの方が大切です
		自分（講習生）が理解しているかどうかを確認してくれるか		
		その結果、自分が内容を理解できているか		
	プール・海での講習内容	不安やストレスを取り除いてくれるか		<ul style="list-style-type: none"> ・初めてのプール・海の中でいろんな不安やストレスがあると思いますが、お客さんのそうした気持ちに向き合って丁寧に対応してくれるのが良いインストラクターと言えます ・水中でのスキルも、しっかりここで身につけておきましょう ・できていないスキルがあるのに合格と認定してしまうインストラクターは、結果的にお客さん（講習生）のことを思っていないことになります
		きちんとしたスキルを教えてくれるか		
		できていないのに合格にしないか		
ファンダイビング	ダイビングの料金	Cカード取得後のダイビングの料金はお手頃か		<ul style="list-style-type: none"> ・Cカード取得後も通えるサービスの場合、ダイビング料金がお手頃だと通いやすい（＝上達しやすい）と言えます ・Cカード講習をしてもらって自分のことをよく知っているインストラクター（ガイド）なら、その後のステップアップもしやすいでしょう ・ダイビングを続けていく場合、たとえCカード取得料金が少し高くても、その後のダイビング代が安いと、結果的には安くなることもあります